

# 特集

## 世界に誇れる 「奈良公園」を目指して

奈良公園は、天然記念物「奈良のシカ」や春日山原始林などの自然資源、国宝、文化財などの歴史・文化資源、猿沢池、浮見堂などの公園資源が融合した公園であり、年間1300万人以上が訪れる日本でも有数の観光地です。

これら奈良公園の資源を積極的に維持し、その上で活用するため平成24年2月に策定した「奈良公園基本戦略」に基づいて、さまざまな取り組みを進めています。

今回は、そのうちのいくつかを紹介いたします。



天然記念物 奈良のシカ



特別天然記念物 春日山原始林

### 自然資源

### 各資源が融合

### 歴史・文化資源



東大寺大仏殿



鶯池から望む御蓋山、春日山



春日野園地と東大寺南大門

### 公園資源



猿沢池



興福寺東金堂・五重塔



浮見堂



吉城園主棟

**吉城園周辺地区の整備**

「自然のたたずまいの中に歴史文化が溢れる」をコンセプトに、宿泊施設やレストランを有する「まちごとコミュニティ」を目指して整備を進めています。

奈良公園を訪れた人がより便利に、快適に過ごせるよう、資源の更なる活用を図るための取り組みを進めており、その取り組みのいくつかを紹介いたします。

## 奈良公園の資源を「活かす」

# 奈良公園の資源を「守る」

奈良公園の資源は、さまざまな課題を抱えています。その主な対策として、春日山原始林の保全、奈良公園の樹木の管理、「奈良のシカ」の保護・育成を3つの柱に、資源の維持に取り組んでいます。

## 春日山原始林の保全

春日山原始林は、まちの近くにある貴重な原始林であり、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成要素にもなっています。

しかし、これまでの調査の結果、シカの食害や気候の温暖化などが主な原因となり、原始林を構成する樹種が変化していく恐れがあることがわかりました。

そこで、「春日山原始林保全計画」の策定に向け、シカの食害から植物を守るための植生保護柵を設けるなど、保全活動の効果を検証しています。

《実証実験中の植生保護柵》  
現在、原始林内に5か所設置しています。



## 奈良公園の樹木の管理

奈良公園の樹木は、景観や公園利用の魅力を高めている大切な資源です。

そこで、植栽の適切な管理のために「奈良公園植栽計画」を策定しています。

現在、猿沢池周辺をモデル地区とし、枯死が心配されるシタレヤナギの植え替えや、景観を阻害している樹木の管理を行い、興福寺五重塔を眺望できる空間の創出を目指しています。

《猿沢池周辺の植栽管理》



樹木繁茂による眺望阻害

現在のようす



将来のイメージ(例)

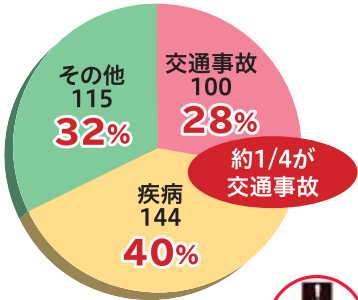
## 「奈良のシカ」の保護・育成

「奈良のシカ」は観光客や地域の人など多くの人から親しまれています。しかし、シカの交通事故、鹿苑の老朽化や鹿苑周辺の環境悪化などが課題になっています。

そこで50年後、100年後を見据えた適切な保護・育成に向け「奈良のシカ保護管理計画」を策定しています。

また、「鹿ゾーン」の整備や鹿苑の改修を行い、「奈良のシカ」と人が共生できる公園を目指します。

《シカの死亡要因(H25)》



《整備予定の鹿ゾーン》



《老朽化した鹿苑の状況》

## 新公会堂地区の整備

県新公会堂と県シルクロード交流館を一体化し、既存の建物を有効活用したコンベンション機能の充実を図っていきます。



両建物をつなぐ渡り廊下

## 県庁舎周辺地区の整備

奈良公園の入り口にあたる奈良県庁周辺の整備をしていきます。

昨年5月に近鉄奈良駅前行基広場に大屋根が完成、7月には県庁玄関ホールをリニューアルしました。

さらに、3月には県庁東棟1階に観光交流拠点としてコンビニ・カフェを整備します。(詳しくは8ページへ)



リニューアルした玄関ホール

# 奈良公園の「おもてなし」

県では、春日大社式年造替や東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国内外から訪れる人に奈良公園を快適に散策していただけるよう今まで以上に力を入れていきます。

## 「奈良公園・多言語通訳センター」

奈良公園周辺の左記ステッカーの貼つてある観光施設等で、電話による通訳サービスを導入します。  
24時間体制で、トラブル発生時に外国語対応をスムーズに行い外国人観光客の満足度の向上を目指します。

【加入施設のステッカー】



## 「(仮称)外国人観光客交流館」

昨年閉館した猿沢荘を、近年増加傾向にある外国人観光客の交流拠点として整備します。宿泊に加え、市内の観光地だけでなく県中南部の見どころの発信や、観光客同士の交流ができる施設を目指します。

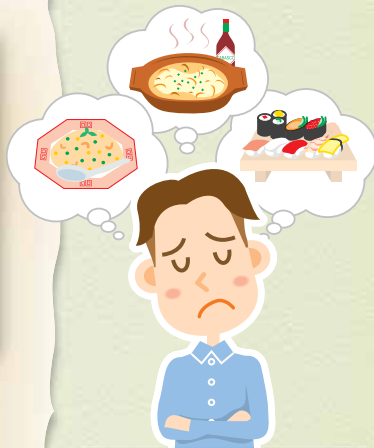


外国人観光客へのおもてなし

## 「奈良公園おもてなし飲食店案内看板」

奈良公園周辺の飲食店の位置や営業時間などを紹介した飲食店案内看板を設置し、観光客の満足度の向上を目指します。

【設置看板イメージ】



何を食べようか迷っている人へのおもてなし

## 「奈良公園道先案内人」

腕章をつけた県奈良公園管理事務所の保安員と民間ボランティア団体等が「公園道先案内人」として奈良公園内を巡回し、困っている人に対して公園を案内し、周遊のお手伝いをします。

【案内人の腕章】



道に迷った人へのおもてなし

# 奈良公園観光地域 活性化総合特区の 指定を受けました!!

奈良公園観光地域活性化総合特区は、官民が連携して、「奈良公園の資源の維持利活用による観光振興」や「受入れ環境の充実による滞在型観光の推進」により、地域の活性化を目指すものです。

## 奈良公園観光地域 活性化総合特区に おける取り組みとは

特例措置による取り組み

● 観光の基盤整備の推進

● 宿泊施設の改修促進

など

地域の責任ある取り組み

● 奈良公園観光地域活性化

基金の創設

● 社寺や周辺観光施設等を

巡るバスの運行

など

※地域活性化総合特区とは  
特例措置（規制緩和、税制支  
援、財政支援、金融支援）や地  
域の責任ある取り組みによ  
り、地域活性化を図るもの。



興福寺中金堂平成再建事業



奈良の鹿愛護活動

【現在基金の対象となっている事業】

**奈良公園観光地域活性化基金**  
奈良公園とその周辺地域の観光を振興することで、地域の活性化を図るための基金です。県民、事業者など、皆さんからの寄付金で、伝統行事や観光振興事業の実施、文化財の修復や保全、歴史的建造物の再建その他奈良公園の観光資源としての価値を高める事業を支援します。



若草山焼き事業



なら燈花会



しあわせ回廊なら瑠璃絵

今月2月8～14日に開催します。ぜひご来場ください。

今後、春日山原始林の保全なども対象になるよう検討しています。

知事から

## ひとつこと

奈良公園は、「世界遺産」の登録、「史跡名勝天然記念物」や「地域活性化総合特区」の指定を受けている全国でも類を見ない「世界に誇れる公園」です。

県では、50年後、100年後の奈良公園の姿を見据えて資源の維持に力を入れています。

さらに、奈良公園の魅力向上のため、おもてなしやにぎわいづくりにについても、周辺社寺や民間事業者、地域の方々と一緒に行ってきたいと思っています。

